

新しい(NEW)理想郷(UTOPIA)

NEW TOPIA

N.136

2023 7.15

岸和田市国際親善協会だより

INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

にゅとぴあ岸和田

ifa-きしわだ

特別企画

大宮小学校の先生が
やさしい日本語を実践

和泉高校留学生
日本語指導

にほんご
やさしい日本語
たこじぞうえき すてんどぐらす
蛸地蔵駅の ステンドグラス

総会特集

- 総会報告
- インドネシア青年のコンサート

連載

English Open Café

連載

世界の民族衣装

ベトナム編



Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会



表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



総会・経過報告

2023年度の事業指針を決定する総会が、5月13日（土）南海浪切ホール4F交流ホールで開催されました。

総会は井上實会長の挨拶で開会し、永野耕平市長の祝辞に引き続き、事務局、広報部会、事業部会、日本語サロン部会より2022年度事業報告、並びに同年度決算・監査報告があり、原案通り承認されました。引き続き2023年度の事業計画案・予算案についても満場一致で承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、新役員が選出されました。

永野市長は、ごあいさつの中で市政施行100周年を記念して本協会が作成・発行した「やさしい日本語を使いましょう」を岸和田市に1500部寄贈したことに対するお礼とあわせ、市役所の窓口での活用を進めていることを語ってくださいました。（広報部会）



ご来賓の永野市長より祝辞を賜りました

ご挨拶

会長 井上 實

岸和田市国際親善協会は創設34年を迎えますが、当初から地域社会の要請に応える形で事業を展開してきました。例えば日本語サロン事業は、当時国で始まった中国残留孤児の帰還事業の家族に対し、一人のボランティアが週に1回の対話サロンを始めたのがきっかけでした。

今では、市内5か所で多くのボランティアのもとで世界20か国約100人が日本語を学び、日本文化に触れ、相互交流の場や心の居場所ともなっています。日本の一地方と多くの外国・地域とを結ぶ架け橋となっています。

これからも、地域・岸和田市の国際化の進展に少しでも寄与できたらと願っています。

新年度役員

(2023年度～2024年度)

役職名	氏名	西村 紀子 (事務局員)	岸和田市立小学校校長会
会長	井上 實 (兼事業副部会長)	西村 令子 (事務局員)	岸和田市立中学校校長会
副会長	東田 和代	服部 圭子	岸和田商工会議所
	内田 満弥 (兼広報部会長)	松本 光雄	岸和田青年会議所
会計	藤平 敬子	三森 すみ代 (広報副部会長)	岸和田文化事業協会
理事	井手 勲	宮崎 眞知子 (日本語サロン副部会長)	岸和田中央ライオンズクラブ
	内田 喜江	村木 靖子	岸和田ロータリークラブ
	緒方 理世	岸和田市医師会	国際ソロブチミスト岸和田
	柿花 稲美 (事業部会長)	岸和田市薬剤師会	トーヨートラベル株式会社
	小島 祥子 (日本語サロン部会長)	岸和田市スポーツ協会	ヒップファミリークラブ
	澤田 直子	岸和田市町会連合会	顧問 永野 耕平 岸和田市長
	渋谷 幸子	岸和田市日本大韓民国親善協会	松本 妙子 岸和田市議会議長
	樽谷 弘子	岸和田市日本中国友好協会	桐原 喜彦 前会長
	辻ノ 賢美	岸和田市文化協会	監事 中塚 鞠子
	中村 恵子	岸和田市立産業高等学校	米川 典子

第2部 お楽しみコンサート♪

ifa きしわだ

総会

厳粛な総会から一転、今年はインドネシアの方々によるコンサートが同じ会場で行われました。

インドネシアの民族衣装を着た青年たち7人が、インドネシアの民謡を聞かせてくれ一気に会場は華やいだ雰囲気になり、BIGINの「島人ぬ宝」では、会場の皆さんも大合唱。

演奏を聞いた人からは「休みの日や仕事が終わってから集まってお国の楽器や歌を楽しんでいるインドネシアの皆さん素敵でしたね。」「故郷を離れても音楽を通して仲間たちと励まし合いながら日本の暮らしに馴染もうとしている姿にキュ



インドネシア民謡から合唱曲までご披露してくれた、Asslolo(グループ名)

ンとしました。日本での生活が、彼らにとって心地よいものでありますように。」「素朴で、暖かくて…民族楽器の音色と歌声に癒されました!!」との感想がありました。

演奏の後、総会に着物で来られていたKIMONOクラブの方や、ベトナムの民族衣装のサロン生と一緒に記念撮影。国際親善協会ならではの総会となりました。(広報部会)



民族衣装姿で、記念撮影

トルコ・シリア地震義援金

3月12日～5月13日の間、理事会・総会・日本語サロン・クラブ・EOC等で募った義援金16,847円を、岸和田市を通じて日本赤十字社へ届けました。ご協力ありがとうございました。



やさしい日本語をしましょう。

たこじぞうえき すてんどぐらす 蛸地蔵駅の ステンドグラス

いま たこじぞうえき たてももの ねん た
 今の 蛸地蔵駅の 建物は 1914年に 建てられました。

まど すてんどぐらす うつく ようふう たてももの
 窓に ステンドグラスが はめられています。 美しい 洋風の 建物です。

くに とうろくゆうけいぶん かざい えら すてんどぐらす
 国から 登録有形文化財に 選ばれました。ステンドグラスには

たこじぞう きしわだじょう たす ものがたり か
 「蛸地蔵」が 岸和田城を 助けた 物語が 書いてあります。

ねんまえ きしわだじょう わかやま てき せ
 450年前 岸和田城に 和歌山から 敵が 攻めてきました。

ま うみ おお たこ の ほうし
 負けそうになったとき 海から 大きな蛸に 乗った 法師と

すうせんびき たこ きしわだじょう たす
 数千匹の 蛸が やってきて 岸和田城を 助きました。

ほうしほんとうにんげん しぞうさま
 その法師は 本当は 人間では ありません。 地蔵様でした。

わたしたちは たこじぞう よ
 わたしたちは 「蛸地蔵」と 呼んでいます。



Shinako Abueさんが描いてくださった「蛸地蔵駅」のイラストが今号の表紙を飾っています。

春のワークショップ参加の感想 ~岸和田市国際親善協会からたくさんの方が参加~

どういった規模の交流会であるかも知らずに、ただ昨年10月に岸和田市に CJSCNの代表団4名が来られた時のご縁で、一市民として好奇心の赴くままに今回ワークショップに参加した感想や驚きをお伝えできたらと思います。

日本のソーラン節のメロデーにのせた歌で始まる画面で迎えられズームミーティングが開始。代表者によるスピーチの後、5人ほどのグループに分かれての交流でしたので気軽に参加できました。私のように交流事業に携わっていない人もいっしょやる中、今年になり熱心に交流された団体でのお話で興味深かったのは、「コロナによる日常生活の制限がなくなった時期でも多くの日本人がマスクをしている様子を見て、それを尊重し日本を訪問している私たちもつけましようとなった。」という話でした。

また交流に参加する人々を増やしていく一環として日本で仕事をした経験のあるJET(外国青年招致事



業)にもこのワークショップへの参加を呼びかけたということも、交流のすそ野を広げ一般の人に広く認知してもらうためにはいいアイデアだと感じました。

交流事業の後継者や支援者を育てていく観点からなかなか難しい点がある中、大人の交流プログラムの場合、すぐにお世話になったご恩はすぐ返そうとするので、ホームステイの受け入れ家庭は見つけやすいのだというお話もなるほどと思えました。交流を通じて素晴らしい体験をした若者が地域にもどって活躍するには時間がかかるという側面も否めないそうです。

まとまりのない感想で恐縮ですが、率直な感想です。
(井上和美)

和泉高校留学生日本語指導



そらさんの授業風景

4月より和泉高校でタイからの留学生トーファー・サラーンセットさんに日本語を教えています。

「トーファー」はタイ語で「空」「キラキラした光」という意味があるらしく、初めての対面の日に「そらと呼んでください。」と明るく自己紹介をしてくれました。

そらさんは、16歳の高校2年生です。日本語は正式に勉強したことがなく、大好きな日本のアニメ

を見て自然に覚えたそうです。アニメが好きで日本に興味を持つ外国人が多いとは知っていましたが、改めてアニメの影響力の凄さを感じました。

日本語指導は週1回、通常の授業とは別に、ボランティア2名が交代で行っています。「みんなの日本語初級編」を使って勉強していますが、理解の速さには毎回驚かされます。そらさんは、ボランティアによる日本語サロンにも通っており、ホストファミリーや友達とも積極的に日本語で会話することで、どんどん日本語を習得しています。

2月までの短い期間で

ですが、この体験がそらさんの未来を照らす「きらきらした光」になることを願っています。(熊野由香)



レベルアップ講座を受講して



講師の服部圭子先生

3月25日、レベルアップ講座を受講してきました。服部先生のお話は、密度が高く、グループ内での話し合い、発表も組み合わせながらなので、同じテーマでも皆さんがどのように考えられているのか、それぞれのサロンでどんな活動がなされてきて、今はどんな事が問題なのか、それに対してどんな解決策があるのかなど参考になる意見を聞く事が出来ました。

また、テキストには載っていない、実際に外国人の方がこんな場面に遭遇したら（例えば、ひったくりに遭うとか、目の前で人が倒れた場合などの緊急時の連絡方法など）どう対処すれば良いかを、どのように教えてあげたら分かりやすいかなどを考えたり、文字通りレベルアップに繋がる内容の濃い講座でした。

時代と共に、生活様式も勿論、コロナ禍を経て色々な事が変化してきています。

コロナも落ち着き始め、初めて日本に来られる外国人の方も再びどんどん増えてくる中で、私たちボランティアも今までの教え方も勿論大切にしつつ、更にスマートフォンやタブレットなどを使って画像やインターネットも駆使しながら、分かりやすく伝える方法を模索する必要性や、個々の外国人の方のニーズにあった寄り添い方や、それぞれのサロンの在り方など、改めて考えさせられる良い機会となりました。（吉田恵理子）



皆さん熱心です

世界の民族衣装

ベトナム編



ベトナムの民族服アオザイ (Áo dài) は、18世紀に官服として着られていたことから、現在でも正装とされています。上衣はチャイナカラーと呼ぶ立襟で長袖、身体に沿った細身の仕立てで腰骨にかかる深いスリットが側面に入っています。下衣はゆったりした白の長ズボンを合わせます。

高温多湿の気候のため上衣は単衣仕立ての木綿製が多く、かつては男性も着用していましたが、現在アオザイ姿を見かけるのは女性がほとんど。女性用アオザイのスリットの深い細身のラインの美しさはフランス領インドシナ時代に改良されたもので、ヨーロッパナイズされ洗練されています。

アオザイ (Áo dài)



とっておきをお披露目してくれた春木日本語サロン生のアインさん

今回、春木サロンで日本語を学んでいるベトナム人のアインさんがとっておきのアオザイを披露してくださいました。こってりした民族衣装では無かったので驚きました。

ヨーロッパナイズされた雰囲気に加えて、最近の若い方はこのようにシンプルでスッカリしたアオザイを好まれるそうです。

なお、ベトナムでアオザイを購入する時は基本、サイズを測ってオーダーメイドとなります。一度ジャストサイズに仕立てたアオザイは、太ると着られなくなるため、ベトナム女性は体型保持にたいへん気をつけているようで、さすがアインさんもスタイル良く着こなしておられます。（新矢由紀）



イヴァン さん (Ivan Armendariz) サル さん (Umaru Sall)
メキシコ シエラレオネ

03.18 土



3月はメキシコから来られた Ivan Armendariz さんとシエラレオネから来られた Umaru Sall さんのお二人をゲストとして迎えました。お二人とも外交官として母国で活躍されていますが、現在は外交官日本語研修プログラムに参加するため8か月間日本に滞在されています。

研修の一環として、日本の各地に出かけては見聞を広めておられる中、お二人とも出かけた先で財布を無くしてしまったことがあったそうです。でも、そこは安心安全の国・日本です。時を経ずして財布はお二人の手元に無事に戻されたとか。その顛末をお聞きした時、日本で暮らす私達も嬉しい気分になりました。

さて、両国は北アメリカとアフリカに位置し距

離的に遠く離れてはいるものの共通する点がいくつかあることに気づかされました。

両国ともにスペインやイギリスの植民地時代を経て今日に至っています。そのため内乱や革命が繰り返され、人々の生活が安定してこなかったこと、そして、今も飢餓に苦しむ人々が一定数いること、また、ともに鉱物資源の産出が多いにもかかわらず(メキシコ:石油、銀、オパールなど シエラレオネ:ダイヤモンド、金紅石、鉄鉱石など) それらを活用して経済の発展を図ることが今尚課題であることなどをお話いただきました。

お二人は「将来、日本大使館で働きポリティカル・リレーションシップ(政治的な関係)をもとにメキシコの文化を広めたい。」(Ivanさん) 「日本とシエラレオネの架け橋となって、母国の教育や産業の発展に努めたい。」(Umaruさん) とおっしゃいました。

若く有望な外交官として今後のお二人の活躍がますます期待されます。(福塚篤子)



サルさんの故郷 シエラレオネ THE BONTHE ISLAND



イヴァンさん 九州で紙漉き研修



ライ さん (Lai Yin Yee) マレーシア

04.15 土



マレーシア英語の発音はかなり特徴あるらしく、私は録音したものを解読してようやく30%くらい理解できました。しかしライさんの専門分野「生物多様性(学)」(生物の種を維持し人類と共存させるというテーマ?)を外交官の仕事に生かそうという熱意はよく伝わってきたと思います。

マレーシアは生物の宝庫ですが自然破壊の問題があります。また、さいわいこの日のEOCにマレーシアに長く日本語教育で滞在した人や、早い時期に勇敢にも現地旅行した女性が居て、



彼女らの生の話を聞くことができ(歴史のマラッカ、ドリアンやイッポ美人の話など)エキサイティングな臨場感も味わえました。(金子尚)



「安心・共感・希望」

これが今回のゲストのイラン出身の外交官エルヤシ・マフディさんのお話からわたしが感じたキーワードです。

「安心」 まるで音楽を聞いているかのようなソフトな語り口とクリアな英語で、美しい写真を使って、普通なら何時間もかかるであろうイランの地理・歴史・文化の紹介をとてコンパクトにわかりやすくくださり、心地よく頭と心にはいってきました。多くの参加者にとって、イランという国が、短時間の間にこれまで以上に身近に感じられたことでしょう。

「共感」 ある参加者から、お嬢さんが以前、イランを訪れた際に、全く見知らぬイラン人のご夫妻に手厚い歓待を受けたという話題がでると、彼は、そんなことはイランでは普通のことというように、「おもてなしは、イランの文化なのです。」とおっしゃったことが

特に印象に残りました。日本人のマインドとのつながりを感じ、彼の自国に対する愛情と誇りを垣間見た気がしました。

「希望」 もちろん、日本とイランの間には、今なお解決しなければならない政治的な課題があるのは事実で、外交官という立場でなかなかお話しにくいこともあったとは思いますが、とても誠実にわたしたちの質問にも応じてくださいました。「国と国のつながりの入り口は、人」という当たり前のことを彼を通して改めて実感し、わたしの心にもまた新たな希望の明かりが灯りました。
(平松明美)



Informations

■クラブ生随時募集

- 初級英語クラブ
第2・4水曜日10:00~12:00
- 中級英語クラブ「あすなる」
第2・4土曜日10:00~12:00
- 上級英語クラブ「カンガルー」
第1・3水曜日10:00~12:00
- KIMONO クラブ
第2・4土曜日13:30~15:30
- 費用：月2回1400円(3ヵ月前納)、別途協会への年会費2000円
- *其々1回無料体験できますので、事務局へお申込みください。

■English Open Café

- 各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。
- 【日時】9月以外の第3土曜日
13:30~15:30
- 【場所】マドカホール 3F 視聴覚室
- 【費用】無料
*事務局へお申込みください。
(先着20名まで受付します)

訃報

事務局長を永年していただきました前事務局長の米川典子さんが、5月11日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

にゅとぴあ岸和田 No.136

ifamishida 岸和田市国際親善協会

編集担当

虻江詩奈子・内田満弥・川井美智子
新矢由紀・田中洋子・茶木花菜
西村紀子・三森すみ代

お問い合わせや感想などは事務局まで

TEL.072-457-9694

火~土 10:00~16:00

E-mail: kokusai@sensyu.ne.jp
http:// ifa-kishiwada.rinku.org

特別企画

5月29日(月)



多文化共生研修 「やさしい日本語を使いましょう」

大宮小学校の先生が実践！ “やさしい日本語”

「やさしい日本語」を使いましょう
外国人等にわかりやすい日本語を使うためには、少し工夫が必要で

- 工夫1** 難しい言葉を選び、簡単な言葉を使ってください
船水 → 水を くぼる 身体 → 学校が 休み
身軽な → 動きやすい 落下物 → 上から 落ちるもの
- 工夫2** 1文を短くして、分ち書きにし、文の構造を簡単にしてください
1文を24字程度、10文節程度に。主題と述語を一組だけ身の文にします
「地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物に近づかないでください。」
→ 「建物がかこわれています。気を付けてください。」
- 工夫3** 災害時によく使われる言葉、知っておいの方がよいと思われる言葉はそのまますべいませ
その言葉の後に()を使い、言い換えを表記します
余震(後から来る地震) 崖(山の途中) 電灯(手に持つ電灯) ボラン(山)
- 工夫4** 外来語を使用するときは気を付けてください
外来語は原語と意味や発音の異なるものが多い
○ ガス、テレビ、バス (よく使うもの)
× ライフライン、デマ、ハバコシ、...

岸和田市立大宮小学校にて、教職員対象の「やさしい日本語」に関する研修会が行われました。現在大宮小学校には14名の外国にルーツのある児童が在籍しており、その国籍は7か国以上とさまざまです。この日は大宮小学校の33名の先生方が集まり、当協会副会長であり冊子「やさしい日本語を使いましょう」編集委員長の東田和代さんが「やさしい日本語」についてレクチャーしました。

まず日本語が初級レベルの外国人にとって「です・ます」の丁寧な話し方のほうがわかりやすいことを日本語の入門レベルの教科書を例に出して示し、「やさしい日本語を使いましょう」の冊子に記載されている「工夫12」の解説を通じてやさしい日本語とはどのようなものかお話ししてから、グループワークで市役所や病院での会話スキットのやさしい日本語への変換を実践。各グループの発表では柔軟な発想でジェスチャーなども交えた「やさしい日本語」が披露され、日々子どもたちと向き合う先生たちの活発で時にユニークな発表は和気あいあいとした雰囲気でした。この場合はどうすればいいか、ジェスチャーはありか、という質問が出た際には、東田さんか

ら「これが正解というものではなく、通じればOK」というフィードバックがあり、参加された先生方は外国人の母語ではなく、通じるように、わかるように日本語で話す、という新たな視点を発見された様子でした。



ジェスチャーも使って!

今回の研修は大宮小学校から当協会への要請があり、実現されたものです。今後岸和田市の外国にルーツのある児童は、家族を帯同する外国人労働者とともに増加することが予想されます。言葉が通じないということは、外国にルーツのある児童が日本の学校で過ごす中で不安も覚えることもあると思います。言葉は通じなくても「やさしい日本語」を話すということが、彼らの気持ちに寄り添いたいという気持ちの表れとして、心と心が通じるきっかけになりますように。

(茶木花菜)



校長先生も一緒に!!

「やさしい日本語を使いましょう」冊子

「日本語は難しい?」私たち日本人が、分かりやすいように話し方を少し変えるだけで、理解しやすく不安が軽減されます。
「やさしい日本語を使いましょう」は、日本語の用例を生活シーンに分けてわかりやすく掲載した冊子です。
★希望者は事務局にて手渡しまたは、HPからダウンロード頂けます。



無料です

岸和田市国際親善協会編集